

2014年8月28日

重金属汚染対策材「マジカルフィックス」の生産体制を増強

住友大阪セメント株式会社（本社：東京都千代田区、社長：関根福一）は、重金属汚染対策材「マジカルフィックス」について、当社栃木工場（所在地：栃木県佐野市、工場長：大嶋信太郎）内に、新たに生産設備を設置することを決定しました。

マジカルフィックスは、汚染土壌などに含まれる重金属等の溶出を低減する重金属汚染対策材であり、土壌汚染対策のうち、低コストで短時間での対応が可能とされ、注目を集める不溶化工法に使用される材料です。

重金属等を物理的、化学的に吸着し長期的に安定維持するという特徴を有し、東日本大震災の災害廃棄物処理に使用されるなど販売実績を重ねてまいりました。

また、2014年4月には、公益社団法人日本材料学会が定める「地盤改良に関わる技術認証制度」に基づく技術認証を重金属汚染対策材として2例目、セメント業界では初めて取得しました。

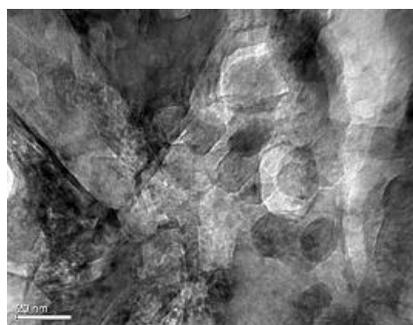
これは、同学会の技術評価委員会において、マジカルフィックスが重金属等に汚染された地下水や地盤の対策における有用性が高く、技術の内容や信頼性が高いレベルを確保していると評価されたものです。

今後、リニア新幹線建設工事や、東京外かく環状道路（外環道）都内区間のトンネルシールド工事などに向けたインフラ整備などにより、施工会社や建設会社において、建設残土の汚染物質不溶化や吸着層による処理ニーズが高まることが予想されています。また、産業廃棄物の不溶化など、重金属汚染対策材には新たな用途拡大も見込まれています。

当社としましては、新たな生産設備の増強により、競争力の高い製品供給体制を整え、旺盛なニーズに対応していくことを目指してまいります。



(粉末外観)



(粒子表面：倍率100万倍)

【本件に関する問い合わせ先】

総務部 IR 広報グループ TEL03-5211-4505 FAX03-3221-4652